



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	彙報
Citation	北方言語研究, 10
Issue Date	2020-03-20
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77592
Type	other
File Information	17_ihou.pdf



㊦ 彙 報 ㊦

日本北方言語学会 第2回大会

日 時：2019年11月9日（土）

会 場：富山大学人文学部 1階大会議室 （〒930-8555 富山県富山市五福 3190）

【特別セッション「言語類型論と北方諸言語研究」】（企画：江畑 冬生，コメンテーター：堀 博文）

江畑 冬生（新潟大学）

「北東ユーラシア諸言語の膠着性・複統合性と統語的派生」

Bugaeva, Anna（東京理科大学）

"How old is polysynthesis in Ainu"

呉人 恵（富山大学）

「コリャーク語の複統合性とその「新しさ」

<ディスカッション>

【研究発表】

吉川 佳見（国立国語研究所／千葉大学大学院）

「アイヌ語の助動詞 a と証拠性」

小野 洋平（放送大学大学院）

「統計的言語類型論における「欠損値」について

—アイヌ語・チュクチ語・モンゴル語ハルハ方言・ナバホ語からの考察」

白 尚燁（室蘭工業大学）

「ツングース諸語とユカギール語の文法的類似性について」

山崎 雅人（大阪市立大学）

「満洲語文語の従属節対格主語の焦点機能について」

植田 尚樹（大阪大学大学院／日本学術振興会）

「モンゴル語ハルハ方言の前気音の音声的特徴」

エンフアムガラシ オノン（東京外国語大学大学院）

「現代モンゴル語の相互表現（ハルハ方言を中心に）」

風間 伸次郎（東京外国語大学）

「モンゴル語の再帰接辞の機能について」

【総 会】

・新年度役員（2020～2021年度） 会長：呉人 恵、事務局長：江畑冬生、幹事：児倉徳和、顧問：津曲敏郎（以上継続）、幹事：堀 博文（新規）

・第3回大会 & 国際シンポジウムの予定

2020年11月7日（土）午後／8日（日）午前

北海道立北方民族博物館（網走市）（7日午前にオプションで博物館見学ツアー予定）

・『北方言語研究』投稿規定の改定：同一著者による投稿を原則として1号1件までとする（11号から適用）。

〔報告〕会員数49名（2019年11月7日現在）

日本北方言語学会 入 会 案 内

①年会費：当面徴収しない

②入会資格：北方言語研究に関心を持ち、本会の趣旨に賛同される方。ただし、北方言語に関する研究業績を2本以上公開していること、あるいは、会員または指導教員等の推薦があること。

③活動内容

- ・研究会および国際シンポジウム等の開催
- ・学会誌『北方言語研究』の刊行（投稿は会員に限る）と会員への無償配布
- ・学会 HP および会員 ML による情報交換

④入会申込：以下について下記事務局あてにメールで通知（随時受付）

- ・氏名
- ・所属
- ・送付物受領用住所
- ・eメールアドレス
- ・研究業績（2点）または推薦者（氏名／eメールアドレス）

⑤事務局：江畑冬生（新潟大学人文学部） hoppougengo-owner@googlegroups.com